

★キッズパワーキャンペーン報告書★

～Kids Can Change The World～

1. はじめに

本事業を企画しました、都立国際高校の宮田真理子と申します。私は児童労働や貧困などの国際問題に関心があり、2008 年 3 月からフリー・ザ・チルドレン・ジャパンのメンバーとして活動してきました。約 1 年間活動してきて感じたのは、子ども主体の団体であるのにまだまだ子どもの数が少ない、ということでした。その原因はおそらく、こういった問題を知らない、知っていてもどうすれば自分になにができるのかわからない、行動をおこすきっかけがない、と感じている子どもがたくさんいることだと思います。私自身も小学生の頃から関心を持ち続け、活動の場を探していましたがなかなか見つけることができませんでした。また私の周りにもそういった友達がたくさんいます。そこで私は、より多くの人に児童労働と途上国における教育の重要性や、子どもでも社会や世界変えることができるということを伝えることで、子どもの活動の輪をもっと広げていきたいと思い、このキャンペーンを企画しました。

2. 背景・趣旨

子どもの権利を奪う児童労働の存在

児童労働は子どもの教育の機会を妨げ、子どもの心や体の成長に害を与える危険な労働をさします。体に有害な農薬や化学物質、機械を扱っての農作業を強いられる子ども、家族の借金返済のために奴隷のように働かされる子ども、戦争の最前線に立たされる子ども兵など、世界には 2 億 1800 万人の児童労働者と呼ばれる子ども達があります。これは世界の子どもの 7 人に 1 人にあたります。児童労働は子どもを教育の機会から遠ざけ、貧困の連鎖を生み出す原因の 1 つになっています。私達も無関係ではありません。児童労働が何らかの形で関わり生産された商品が流通しており、子ども買春や人身取引に日本人が直接関わっているという現実もあります。そこで、このような現状を改善するため、6 月 12 日は国際労働機関(ILO)によって「児童労働反対世界デー」が定められ、毎年世界各地で様々な活動が展開されています。



世界の子どもの教育を

日本では大人は子どもに教育を受けさせる義務があり、子どもは教育を受ける権利を持っています。小学校から中学校の6歳～15歳が義務教育とされ、就学率はほぼ100%といわれています。しかし、初等教育を受けていない子どもは世界には約7700万人おり、その内57%は女子とされています(GCE¹データによる)。ミレニアム開発目標は、2015年までに全ての子どもが区別なく初等教育の全過程を修了できるようにすることを目標としていますが、今のままでは達成が難しいというのが現状です。教育を受けられないと、字が読めないため騙されたり、安定した収入のある職業につくことが難しく、貧困から抜け出すことが困難になってしまいます。

このように世界には貧困や飢餓、紛争や児童労働など、解決しなくてはならないたくさん問題があります。そしてその末端で、最も大きな被害を受けているのは子ども達です。そこで私達は、「同じ子どもの問題なら自分達子どもで取り組もう」というフリー・ザ・チルドレンの理念に基づき、**児童労働と教育**に焦点をあてた、子どもによる子どものためのキャンペーンを企画しました。そして、より多くの人に児童労働と途上国における教育の重要性について関心を持ってもらい具体的な解決のためのアクションとして学校建設のための募金活動を行い、同時に、子どもでも社会や世界変えることができることを示し、行動をおこす人(特に子ども)を増やすための、活動を行ないました。

1 Global Campaign for Education (GCE) という 180 カ国の NGO や教職員組合が運営するネットワーク

3. キャンペーン概要

a キャンペーン名称と表記

「キッズパワーキャンペーン ～Kids Can Change The World～」

b キャンペーン期間

2009 年 6 月 7 日～12 月 23 日

c キャンペーンの目的と目標

- ① ウォークの目的 発展途上国における児童労働の現状と教育の重要性について、一般市民、特に日本にいる小中学生や高校生に知らせ、興味、関心を持つ人、行動する人を増やす。
- ② 学校建設事業の目的 実際に子どもから子どもへの支援を行う

4. 実施した主な活動

a 「児童労働反対世界デー 子ども集会」

- ・ 日時: 2009 年 6 月 7 日(日) ウォーク開始前
- ・ 場所: 渋谷区内の公園(仮)
- ・ 内容: キャンペーン、ウォークの説明、FTCJ メンバーによる児童労働についてのスピーチ
- ・ 参加者数: 50 人



b 「児童労働反対 キッズウォーク」

- ・ 日時: 2009 年 6 月 7 日(日) 午後 (仮)
- ・ 場所: 渋谷・原宿周辺(詳しくは未定)
- ・ 内容: キャンペーン賛同者の小中高生により、パネルなどを持ちながらのパレードと一般市民へのアピールを行なった。
- ・ 参加者数: 50 人



0 「学校を建てよう！子ども募金」

- ・ 期間：2009 年 5 月～12 月
- ・ 場所：小学校、中学校、高校、及び、街頭（主に都内）
- ・ 内容：フリー・ザ・チルドレンネットワークを通してインドに
学校を建てる事を目的とし、実行委員による街頭
での募金活動、キャンペーンに賛同する個人、
学校、企業、団体による募金活動を行った。

※2010 年 3 月に学校建設資金が集まり、8 月よりインド・ラジャスタン州
ウダイプールのウダワド村落にいて、学校の建設が開始



d 広報物の作成と配布

- ・ ポスター・チラシ
(キャンペーン内容、協賛団体名等を掲載し、各団体に配布。)
- ・ プレスリリース
(キャンペーン内容、目的等を記載し、メディアや企業への広報に使用)

5.活動をふりかえって / 感想

私は児童労働の問題を広く伝えたい、子どもの活動の輪を広げたいという思いからキッズパワーキャンペーンを企画してきました。このキャンペーンの一つとして6月7日に子ども集会とキッズウォークを行いました。都内 1200 の学校にポスターとチラシを配ったところ、約 50 人の中高生が参加してくださり、集会ではクイズや朗読劇を通して児童労働について学び、ウォークでは「ストップ!ストップ!児童労働!世界の子どもに教育を!」という掛け声と共に表参道、原宿、渋谷を歩きました。今回の活動を通じて、「子どもでもこれだけの事ができるんだ!」と子どもの力を強く感じました。私達には社会や世界に影響を与える力、発言する権利があると思います! これからも同じ気持ちを持つ仲間とのつながりを広げ、多くの人にこの問題を伝えていきたいです。(キッズパワーキャンペーン・リーダー 宮田真理子(高3))

6. 主催団体について

(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパンについて

1995 年にカナダの当時 12 歳の少年クレイグ・キールバーガーによって設立された *Free The Children* に賛同し、1999 年より日本支部として活動を開始し、その後 2004 年に NPO 法人を取得した「子どもによる、子どものための」国際協力団体。「Kids Can(子どもだからこそできるんだ)！」を合言葉に、18 歳以下の子どもが国際協力活動に参加することを推進しています。世界の過酷な状況におかれている子どもが尊厳のある自由な生活ができることを目指して活動しています。*Free The Children* の活動は世界 40 カ国以上に広がり、創設者クレイグは過去 3 回に渡ってノーベル平和賞にノミネートされ、02 年には尾崎行雄財団から平和活動に寄与した人物に贈られる「罌堂賞」を、06 年には子どもに贈られるノーベル平和賞といわれる「世界の子どもの賞」を受賞するなど活動は世界的に認められるようになっています。今年設立 10 周年を迎えるため、記念事業として 12 月にクレイグを招聘する予定です。現在国内では 20 以上の子どもによる支部があり、220 人ほどの子どもメンバーが活動しています。